

# 釧路湿原自然再生協議会 ニュースレター NewsLetter

No.24

平成30年3月23日

編集・発行：釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

平成30年2月27日(火)、第24回釧路湿原自然再生協議会が開催され、「第8期(後期)協議会構成員の公募結果報告」・「第8期(前期)協議会の収支報告」・「第23回協議会以降の小委員会開催報告」などの報告や協議が行われました。また、平成28年度釧路湿原自然再生協議会表彰団体より、贈呈された支援金を活用した活動報告が行われました。



## 【第24回協議会開催概要】

「第24回釧路湿原自然再生協議会」が平成30年2月27日(火)、釧路市観光国際交流センター・1階大ホールで開催され、構成員131名のうち38名※(個人13名、団体18団体、関係行政機関7機関)が出席しました。その他一般の方も傍聴されました。

最初に事務局から第8期(後期)協議会構成員の公募結果について報告を行い、平成28年度表彰団体の活動報告が行われました。その後、「第8期(前期)協議会の収支報告」「第23回協議会以降の小委員会開催報告」などが行われ、内容について協議を行いました。

## contents

- 第8期(後期) 協議会構成員の公募結果報告
- 第8期(前期) 協議会の収支報告
- 第23回協議会以降の小委員会開催報告
- 平成28年度表彰団体の活動報告

## 【第24回協議会 出席状況】

構成員	個人	13 / 61名
	団体	18 / 47団体
	オブザーバー	0 / 13団体
	関係行政機関	7 / 10機関
合計		38 / 131名

## 第8期(前期)協議会の収支報告

事務局から第8期(前期)協議会の収支報告を行い、協議会委員相互で収支内容を確認しました。

### ■第7期(後期)協議会収支報告

科目	金額(円)
第7期後期からの繰越額	859,600
第8期後期(平成28年12月～平成29年11月)	
1 収支の部	
寄付金(釧路短期大学、サクサクッキー)	9,640
寄付金(ミュージックサロンたじま)	16,070
寄付金(さっぽろ自然調査館)	7,331
預金利息(北洋銀行)	5
第8期後期収入合計	33,046
2 支出の部	
支援金(10万円×6団体)	600,000
印刷費(感謝状作成)	4,040
消耗品(賞状筒、のし袋、筆ペン)	3,291
第8期前期支出合計	607,331
第8期前期収支(2018年2月現在)	-574,285
第8期後期への繰越額	285,315

## 第23回協議会以降の小委員会開催報告

事務局から第18回及び第19回湿原再生小委員会、第21回旧川復元小委員会、第22回土砂流入小委員会、第17回森林再生小委員会、第15回水循環小委員会、第4回地域づくり小委員会、第29回及び第30回再生普及小委員会の開催概要について報告した後、内容について協議が行われました。

● : 会長 ● : 委員 ● : 事務局

### ■ 湿原再生小委員会

#### ■ 幌呂地区自然再生事業について

- H28年度の土砂置場は安定していて問題なさそうだが、将来的にはどうするのか。
- 鶴居村から利用計画があると聞いているが、置き土の沈下が続いていることもあり、もう少し状況をみて対応を決めていきたい。

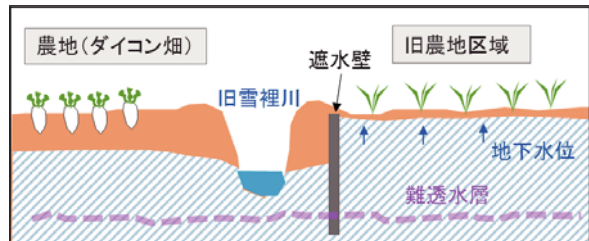


#### ■ 広里地区自然再生事業について

- 広里で検討を断念した遮水壁の工法は、釧路湿原の他の場所で検討したり実施しようとする考えはあるか。
- 他の地域で遮水壁を使って事業を行う考えはない。
- 残念ではあるが、多額の工事費用が掛かること、遮水壁で右岸側だけ地下水位を上げて左岸側の農地の水位を低く保つこと自体が無理なことであった。湿原再生小委員会で、費用対効果も考えて決定されたことだと思う。
- 将来的に土地利用が変わり、農地を譲っていただけることがあれば、簡単な堰を設けて水位を上げるなどの方法もあると思う。

- いろいろ検討した結果、遮水壁を採用することが困難なことが明らかになったということ。状況の変化を引き続き把握していくという意味でモニタリングを継続することが適当と理解する考え方の方が建設的だと思う。

### ～ 広里地区の概要 ～



遮水壁工法の模式図

### ■ 土砂流入小委員会

- 久著呂の河道安定化対策では、帯工を設置した下流で河床が低下したため、この対策としてまた帯工を設置することだったが、もし仮に、帯工を追加していくのではなく取り除いた場合どうなるのか。
- ここは両岸が壁のようで、蛇行ができない地形になっている。水流が早い場所だが、昔は帯工がなく自然に流れていたと思うが。
- ここは溶結凝灰岩で洗掘しやすく、帯工は岩河床の表面に礫をためることにより、掘れやすい土層が露出しないようにするために設置している。
- ここは昔蛇行していたのを直線化して掘ったところで、乾湿風化しやすい岩質だったため河床が掘れていった。この土砂が釧路湿原の中に入ってきているので、対策し続けられないといけない状況になった。

#### No.1帯工



- 土砂の問題は自然再生事業の一番大きなテーマで、蛇行復元や施設設置などをして成果は出ているが、中間貯蔵施設をつくっただけで、土砂を撤去しないと、たまった土砂が下流に流れる可能性がある。定期的に公共事業で土砂を撤去する必要があるのではないか。
- 久著呂地区の調整地については、ケルミ内の年間堆積土砂厚は数ミリ程度で、あぜで囲まれているような状況のため、一度堆積した土砂が流出していくことはないと考えている。
- 私も堆積したものが再度出ていくようになるとは思わない。しかし、ずっと堆積が進めばそこに樹木が生えたり、植生が変化していく可能性はある。またポイントとして、将来的な流域対策について、所有者のある土地もあるなか、どのような一歩を踏み出せば良いか、開発局、林野庁、民間NGOのそれぞれでできることがあると思う。難しいことだとは思いますが委員から提案のような形で発言していただくと、この協議会で何かアクションを起こせると思う。
- 農地や林野で使っていない未利用地がたくさんあるので、少しずつ調査をしてモデル的な対策ができないか。
- また、今は釧路川など大きな河川で旧川復元事業を行っているが、小河川でもっと簡単に元に戻せる場所があるのではないか。調査をして実施してはどうか。
- 今日は土砂流入小委員会の委員長が欠席しているが、小委員会で検討してほしい。それぞれの部局の権限だけでは難しいことだと思うが、どこかに発生源ポイントがあれば、そこを対策していくというような、待ち受けではない対策を検討してほしい。
- 自然再生事業が行われているところ以外の未利用地がかなりあるが、農業サイドでは今後どうしてこうという考えはあるか。
- 我々の立場では、未利用農地を農地に戻していくお手伝いはできるが、農地を無くすために何かを行うということは何とも言えない。
- 未利用の農地を農業サイドが自然再生していくことは現状の法律では難しい。川のそばで、治水安全度が高まる場合は、個人所有の未利用地を買って自然再生していくことはおそらく可能性はあるが、協議会の中で議論して頂くのが良いと思う。

特に、放っておくと釧路湿原に対して問題が生じる場所があれば、各小委員会で具体的な意見を挙げてほしい。

### 森林再生小委員会

質疑はありませんでした。

### 水循環小委員会

- 水循環小委員会で検討されているSWATモデルについて、最終的にどのように自然再生事業に活用していくのか。
- 今は湿原に入る部分での水際対策をしていて、本来は発生源対策が必要であるが、どこから発生してきているか現状ではわからない。なので、まずシミュレーションモデルをつくって場所を推定して、実測調査で確かめ流域全体の対策を検討していくために、このモデルの検討を進めているところである。
- ほかの小委員会とも連携し、ぜひその方向で検討してほしい。

### 地域づくり小委員会

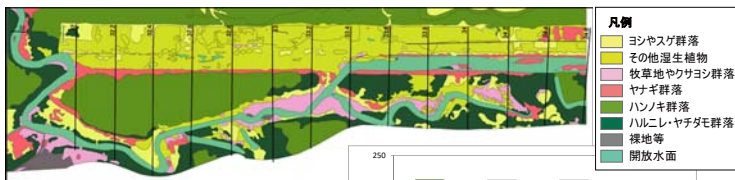
質疑はありませんでした。

### 再生普及小委員会

- ウェブサイトによる釧路自然再生事業の情報提供・発信についてのアンケート結果は、各事務局で参考にしてもらうとのことだったが、情報発信は普及を考えるうえで大事なことだと思うので、引き続き再生普及小委員会で議論を続けてほしい。
- 研究者が解析のためにデータを得たいときと、一般の人が見に行きたいときでは、ウェブサイトで入手したい情報の仕様は異なる。将来的に良いので、サイトの構造自体を変えていくことを検討してもらえないか。
- 釧路湿原に関して情報を発信しているサイトがいくつかあるが、様々な情報を分かりやすく利用しやすい形で提供することが求められていると思うので、再生普及小委員会で検討を続けていく。

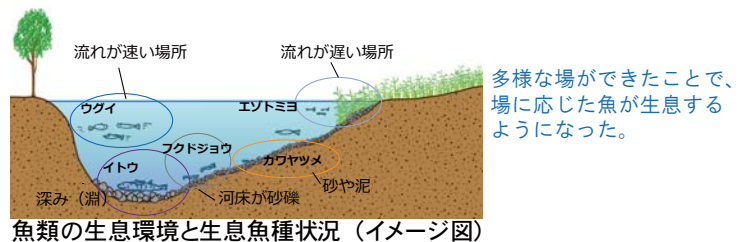
### 旧川復元小委員会

- 土砂が湿原へ流れ込み、湿原本来の植生が変化することを抑えたいということで茅沼地区の旧川復元などの取り組みを続けてきて、成果が出ていると報告を受けている。次はヌマオ口地区で予定されているが、これらの積み重ねをさらに違う河川にも広げていくやり方で、私達は取り組んでいく必要があると思う。



### ■茅沼地区旧川復元区間の物理環境及び生息する魚種の一覧

項目	環境	科	種	評価
流況	流れが速い場所	コイ科 サケ科	エソウグイ、ウグイ アメマス、ヤマメ	横断面の流速分布測定結果から流速分布が多様になったことがわかる。流れが遅い場所を好む種、流れが速い場所を好む種それぞれ生息するようになっている。
	流れが遅い場所	トゲウオ科 ハゼ科 ドジョウ科	イトヨ太平洋型 トミヨ廣淡水型、エソトミヨ ジュズカケハゼ エソホトケドジョウ	
河床地形	深み(淵)	サケ科	イトウ	横断面の測量結果から深みが形成されていることがわかる。このような場所を移動しながら利用していることが伺える。
底質	河床が砂礫	ドジョウ科 カジカ科 ハゼ科	フクドジョウ エソノハナカジカ トウヨシノボリ	河床が砂礫の場所に主に生息する底生魚類が確認されている。
	砂や泥	ヤツメウナギ科 ハゼ科	スナヤツメ、シベリアヤツメ、 カワヤツメ ウキゴリ	砂や泥のなかに生息する魚類が確認されている。



### 全体を通して

● : 会長 ● : 委員 ● : 事務局

- 各小委員会で目標を立て、モニタリング状況と達成状況を報告されているが、学校や地域を回る中で、物理的な改変をしたことで負の影響はないのかと聞かれることがある。いろいろと配慮して事業していると思うが、プラスの面もあるがこういうマイナスの面もあるという情報は、一般の人が自然再生を知っていく上で重要だと思う。ぜひこのような場で報告してほしい。

- その通りだと思う。各小委員会で負の影響がないように検討して進めてきたため、負の影響は最小限に抑えられていると思うが、地域の方からそのような意見があるとのことなので、各小委員会から報告するようにして頂きたいと思う。

## ■第23回協議会以降に開催された小委員会の開催概要

小委員会名	開催日時	議事次第
第18回 湿原再生 小委員会	H29.3.10(金) 13:30～15:30	1. 開会 2. 議事 1) 第23回釧路湿原自然再生協議会の概要について 2) 平成28年度 幌呂地区自然再生工事の土砂置場について 3. 閉会
第19回 湿原再生 小委員会	H29.12.12(火) 13:30～16:00	1. 開会 2. 議事 1) 幌呂地区湿原再生事業について 2) 達古武湖自然再生事業について 3) 広里地区自然再生事業について 3. 閉会
第21回 旧川復元 小委員会	H30.2.14(水) 13:30～15:30	1. 開会 2. 議事 1) 茅沼地区旧川復元事業の評価について 2) 地域と連携した旧川復元事業の取り組みについて 3) ヌマオロ地区旧川復元実施計画について 3. 閉会
第22回 土砂流入 小委員会 (現地見学)	H29.11.22(水) 9:00～15:50 午前:現地視察 午後:意見交換	1. 開会 2. 議事 1) 久著呂川における土砂流入対策について 2) 流域における土砂の発生源対策について 3) その他 3. 閉会

小委員会名	開催日時	議事次第
第17回 森林再生 小委員会	H29.10.19(木) 13:00～15:15	1. 開会 2. 議事 1) 雷別地区自然再生事業の実施状況について 2) 達古武湖自然再生事業の実施状況について 3) その他 3. 閉会
第15回 水循環 小委員会	H29.3.8(水) 9:30～11:00	1. 開会 2. 議事 1) 釧路川流域における栄養塩負荷量の検討結果について 3. 閉会
第4回 地域づくり 小委員会	H30.2.13(火) 10:00～12:00	1. 開会 2. 議事 1) 第1～3回地域づくり小委員会の開催概要 2) 今後議論したい内容について 3. 閉会
第29回 再生普及 小委員会	H29.6.15(木) 13:30～15:30	1. 開会 2. 議事 1) 再生普及小委員会の活動について 2) 自然再生の普及のためのパンフレットの活用について 3) その他 3. 閉会
第30回 再生普及 小委員会	H29.12.15(金) 13:30～15:30	1. 開会 2. 議事 1) 再生普及小委員会の活動報告 2) ウェブサイト等による情報発信について 3. 閉会

## 平成28年度表彰団体の活動支援金による活動報告

釧路湿原自然再生協議会では、平成28年度に釧路湿原自然再生基金（寄付金）を活用して、釧路湿原自然再生に資する地域の取組を応援する目的で、顕著な功績を挙げた民間活動団体へ感謝状及び活動支援金を贈呈しました。  
この活動支援金を活用した活動について、各団体より報告していただきました。



### ① 釧路川カーヌーネットワーク

「釧路湿原国立公園指定30周年記念 釧路湿原カーヌーミーティング」（釧路川清掃活動）

場所：塘路湖キャンプ場から細岡カーヌーポイントの区間  
及び塘路住民センター（標茶町字塘路）



### ③ 標茶西地区農地・水保全隊

「いきもの調査絵画展表彰式」

場所：各小学校ホール（磯分内小学校・沼幌小学校）



### ② 公益財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ

「日本製紙クレインズの選手と、タンチョウの冬の食事場所を作ろう！」

場所：鶴居村（タンチョウサンクチュアリおよび旧雪裡川3号自然採食地）



### ④ 鶴居村森林組合

「木育のための玩具寄贈」

場所：鶴居村立鶴居保育園



### ⑤ 北海道標茶高等学校

「第19回全国高校生自然環境サミット（平成30年8月予定）」

場所：北海道標茶高等学校敷地内および釧路管内



■資料の公開方法 委員会配布された資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。  
ホームページアドレス <http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend000003ppq.html>

■ご意見募集 釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。  
電話・FAXにて事務局までご連絡ください。



## 釧路湿原自然再生協議会ニュースレター No.24

【編集・発行】釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

【連絡先】TEL (0154)23-1353 FAX (0154) 24-6839